



GOVERNOR'S Monthly Letter

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信

July 2020
No. 2

8

ガバナー 野生司 義光

■2020-21 年度ロータリーテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

国際ロータリー会長クナーク氏は、2020-21 年度テーマを「ロータリーは機会の扉を開く」と発表しました。

“ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」である。

私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものである。奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである。”と力説されました。

このマークは誇りのシンボル歯車のロータリーゴールド、ローターアクターを示す克蘭ベリーレッド、ロータリアンのロイヤルブルーで構成されています。

私たちもこのテーマをもってこの1年活動していきましょう。

例年、地区テーマを掲げますが、私は、「ロータリーは機会の扉を開く」をそのまま地区のテーマとし、活動していきたいと思います。

■ビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明と

- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的なかわりを促す
- 適応力を高める

という4つの行動計画を再認識し、ビジョン実現に取り組んでいきましょう。

■2020-21 年度地区活動方針

1. 会員増強

会員数の減少を止めることはわが地区の大きな課題ですが、実態はつかめているでしょうか？日本のなかで、わが地区は人口1万人当たりロータリアンの人数が最低、という事実をご存知でしょうか？なぜ、会員増強なのでしょう？会員が増えることで、達成できる目標があります。まずは、自分たちのクラブの実態を把握し、分析することが必要です。そして、そのためには、会員のデータを整備し、

各人が My Rotary に登録することで、簡単にクラブの状況が見えるようになります。皆様にも、ぜひとも登録をおねがいしたい。まずは、ロータリーのページにアクセスするという行動をとっていただきたい、と考えています。

2. 公共イメージの向上

そのうえで、公共イメージ向上に取り組み、広く、会員でない方に「ロータリー」を認知してもらうことが仲間を増やすことにつながると考えています。公共イメージ向上は、地域とつながることであり、すでに各クラブでは社会奉仕活動として、地域のお祭りに参加したり、バザーを開催したり、青少年の活動を応援しているところも多いと思います。新聞やテレビ、自治体の広報に載せてもらう、露出し、認知してもらうようにしていきましょう。また、そのためにも、ロータリーのロゴやカラーなどブランドリソースを大いに活用しましょう。

3. ロータリーデーの開催

すでに、各クラブで祭りやバザーなどに参加していることでしょう。さらに、分区ごとでロータリーデーが開催できれば、より大きなインパクトにつながることでしょう。閉鎖的な「仲良しクラブ」ではなく、行動するクラブに変わっていきましょう。

■行動計画

1. 分區別クラブ活性化セミナーの開催

分區別クラブ活性化セミナーはガバナー補佐の方々を中心に分區別会長幹事会時に行ってください。公共イメージの向上、会員増強、ロータリーデーへとつなげるようにしていきたいと考えています。

2. 会員データの整備と My Rotary の登録推進

2020年9月末までに登録していきましょう。

3. 奉仕活動情報交換研究会の開催

また、今年度新たに奉仕プロジェクトグループを設けました。すでに RI では奉仕委員会を奉仕プロジェクトグループに統合させ、一体で運営するようになってきています。第2580地区でも今回、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の3委員会合同での奉仕活動情報交換研究会を発足させ、情報共有を図ることとしています。

日本のロータリーが100周年を迎える今年、一緒に機会の扉を開いていきましょう。

ガバナー補佐への就任にあたって（中央、北分区）

東、武蔵野、多摩、沖縄分区担当7名のガバナー補佐の報告は次号に掲載します。

西岡孝志ガバナー補佐

（東京紀尾井町ロータリークラブ）

中央分区の6クラブを担当致します東京紀尾井町RC所属の西岡孝志です。

担当クラブは、千代田区内で創立100周年を迎えます東京RC、創立56年の東京神田RC、創立52年の東京麹町RC、創立28年の東京紀尾井町RC、創立27年の東京お茶の水RC、創立3年の東京丸の内RCです。

上記6クラブの総会員数は2020年6月末現在で554名です。

東京RCは2020年10月21日に帝国ホテルにて創立100周年の祝賀会を大規模に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から東京RC会員のみで開催することになりました。

2020-2021年度の地区の方針は、①会員増強、②公共イメージの向上、③ロータリデーの開催が決定されています。特に野生司ガバナーは、5年間で500人の会員増強を目標にしておられますので、ガバナー補佐としては、野生司ガバナーの意を体して、会員増強の為に尽力致し、お役目を全うする覚悟です。

会員数の推移を振り返って見ますと第2580地区に於いては、20年前の2000年7月1日は4,363人に対して2020年6月末は2,870人、1,493人、34%の減少です。中央分区でも20年前の2000年7月1日1,151人に対し、2020年6月末は937人、214人、約19%弱の減少という結果でした。この会員減少を放置する訳にはいかないので、千代田6クラブは一体となって会員増強に努力することの共通認識を会長・幹事会で持ちました。

本多良美ガバナー補佐

（東京新都心ロータリークラブ）

新宿エリア5クラブの担当ガバナー補佐の本多良美です。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

コロナがなかなか収束しない状況ですが、新宿5クラブ全てが新年度7月から例会を実施しております。各クラブそれぞれに、コロナ感染防止のために、難しいかじ取りではありますが、3密を回避するべく工夫を凝らしての例会開催となっています。

各クラブの今年の基本方針・テーマは以下となります。

東京西北ロータリークラブの基本方針は、「東京西北ロータリークラブの未来を考え、行動する」、「国際的な視野でロータリー活動を考える」、「地域社会に貢献する」、「楽しいクラブ・魅力あるクラブを作り、会員相互の絆・結びつきを強める」。

東京新宿ロータリークラブのテーマは、「親睦と奉仕のバランスを取る」です。コロナ禍の対応の為、通常の例会にオンラインでも参加出来るようにします。

東京四谷ロータリークラブのテーマは、「子供の命を助けよう」です、いじめや虐待、貧困をいかにして減らすことができるかが焦点となります。

東京ワセダロータリークラブのテーマは、「Join & Enjoy ROTARY」「世代を超えた親睦と調和」です。例会や様々な企画・活動への積極的な参加を促しています。

東京新都心ロータリークラブのテーマは、「未来の奉仕を考えよう」です。参加して楽しいクラブであることが大事。奉仕の理念を学び、実践できるクラブを目指します。

新宿5クラブを担当するガバナー補佐としては、1年かけて、各クラブがクラブの価値を高めることができるよう、サポートしたいと思っています。そのためには、まず、「あなたはなぜロータリークラブをやめないのですか？ やめない理由は何ですか？」という質問を会員全員に投げかけ、議論を促したいと思っています。やめない理由、それが、つまりロータリーの魅力であり価値であります。その価値を高めるためには何をすればよいのか、その議論を深めればおのずとその解は明確になるのではないのでしょうか。

加藤幸男ガバナー補佐

（東京練馬西ロータリークラブ）

私は、2020-21年度 中央文区 城北グループ 5クラブ（東京城北、東京セントラルパーク、東京練馬西、東京練馬 中央、東京御苑、各ロータリークラブ）を受け持つことになりました。

クラブ訪問がままならない中、クラブの紹介は不十分になり、各クラブには大変失礼になりますが、お許しをいただきながらの原稿になります。

簡単にこの城北グループを一言で言ってしまうと、（東京城北クラブをクラブ創設の親とするわけですが、それを除いても）「一つの家族」という表現でしょうか。その「家族」の特徴は、お互いに尊敬しあって仲の良いこと、親睦を大切にしていることです。

もちろん各クラブには、それぞれの個性があるわけですが、お互いにその個性を尊重しあって、なお余る絆のようなものを感じることに私はあります。

さて、私の本年度の抱負ですが、ガバナーの補佐をすること、各クラブが輝くことのお手伝いをすること、これに尽きると思います。

現在のところ、会長幹事会を通じて感じた共通項は、会長が予定をしていたクラブ方針、スローガンを変えざるを

得ない環境にあることです。

このことから、まず心がけたいのは、会長幹事とのコミュニケーション、コロナ禍の中のクラブの楽しみ方を、クラブの個性を活かす方法を考えることへのサポートであります。既に退会を表明している会員が少なからずいることも聞いています。業種によっては慰留をお願いすることすら困難でしょう。その上「楽しみ」を見つけることはたやすくありません。しかし、ロータリーの歴史の中で様々な困難を乗り越えてきたこともまた事実なのであり、このことを忘れずにいたいものです。

クラブの関心事には、「公共イメージ」もあります。自クラブを客観的に見つめる機会として、「公共イメージ」や「MY ROTARY」の登録をクラブの戦略の一つとしてとらえていただければ良いと考えています。

私自身は現時点、担当5クラブの皆様を理解する入り口にも差し掛かってはいたませんが、以上のことを踏まえ、一年間努めてまいります。どうぞよろしく申し上げます。

栃木一夫ガバナー補佐

(東京北ロータリークラブ)

北分区内東京小石川、東京上野、東京本郷、東京後楽、そして所属クラブ東京北の各クラブを担当します。

2019-2020年度の地区クラブ奉仕委員会において各クラブに『らしさ』に関してアンケート調査がありました。その回答を基に担当クラブの紹介をしたいと思います。

東京小石川ロータリークラブ

(茶木泰風 会長 小松崎敬子 幹事)

《アメリカのアーバナ RC と仲良しの東京小石川 RC》

本年度テーマ「歴史に学ぶ超我の精神」

東京上野ロータリークラブ

(向井史郎 会長 渡辺恭司 幹事)

《藝術と文化にふれあう、下町情緒あふれるクラブ》

本年度テーマ「思いやりのある奉仕をしよう」

東京本郷ロータリークラブ

(松岡 浩 会長 篠崎陽一 幹事)

《クラブアイデンティティは「青少年の健全育成」!!》

本年度テーマ「Move Forward 新たな気持ちで一歩前へ」

東京後楽ロータリークラブ

(知花孫光 会長 菊川 清 幹事)

《目指せ先憂後楽》

本年度テーマ「まずは奉仕活動からはじめよう」

東京北ロータリークラブ

(浅田松太 会長 北澤萬右会門 幹事)

《伝統と新しさを融合した クラブ》

本年度テーマ「ロータリーをつなごう」

東京小石川は野生司ガバナーの出身クラブです。子クラブの東京後楽とともにガバナーのサポートが中心になります。

東京北クラブは創立 70 周年、東京本郷クラブは創立 30 周年と周年行事が控え、そして東京上野クラブは芸術施設

を中心とした活動が控えています。

コロナウイルスによる新しい様式の時代と呼ばれるようになりました。今までなかったような声も聞こえてきます。新たな対応もとめられます。

この一年クラブ間の横のつながり、情報交換を密にしていき、前を向いた活動をして行きたいと思えます。

加古博昭ガバナー補佐

(東京池袋ロータリークラブ)

2020-2021 年度北分区ガバナー補佐を務めます東京池袋ロータリークラブの加古博昭です。担当するクラブは東京板橋、東京池袋西、東京豊島東、東京板橋セントラルと所属する東京池袋の5クラブです。東京池袋ロータリークラブを源流とするこの5クラブは、毎年5クラブで合同例会や親睦ゴルフコンペを開催するなど普段より結びつきの強い5クラブです。例会場も東京板橋、東京豊島東、東京池袋がホテルメトロポリタンで、東京池袋西、東京板橋セントラルが東武百貨店バンケットホールとすべて池袋の地で行っております。今年度はコロナ禍の影響で東京池袋西ロータリークラブが一時的にホテルメトロポリタンに例会場を変更しております。

この度、ガバナー補佐という大役を仰せつかりました。ガバナー補佐は、その名の通りガバナーのアシスタントでありガバナーとクラブのつなぎ役と理解しております。担当する各クラブの例会等に訪問させていただき、各クラブの皆様と情報の交換、共有を図り、各クラブが持続するための一助となれるよう努めて参ります。入会して12年でロータリー歴も浅く、知識も経験も少ない甚だ若輩の身であることは自覚しておりますが、ロータリアンの皆様に支えられてこの一年の責務を果たしたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

鈴木憲興ガバナー補佐

(東京王子ロータリークラブ)

2020-2021 年度北分区ガバナー補佐の鈴木憲興です。担当クラブは、東京王子、東京浅草、東京荒川、東京浅草中央、東京リバーサイドの5クラブです。

国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏は、テーマを「ロータリーは機会の扉を開く」と発表しました。

国際ロータリー第 2580 地区の野生司義光ガバナーもそのまま地区のテーマとし、活動するとしています。

ロータリークラブは、7 月から新年度開始であります。各クラブは新しい執行部と事業計画のもと、スタートを切ることになっています。しかし、今年度は旧来の在り方と全く違っています。各クラブの運営方針によって異なりますが、おおむね 3 月から 6 月にかけてロータリークラブの例会が休会となり、会員の出席しての交流が止まってしまうました。

例年に予定されていた地区内の諸行事も中止、又は延期

といった今まで経験したことがない事案が発生してしまいました。新型コロナウイルス予防対策をとった上での例会運営は、我々の予想を超えたものになるかもしれません。しかし、その方法を考えていくしかないと思います。RI会長、各クラブの会長、幹事、各担当委員長の知恵をお借りして、新たなクラブの運営方法を探る一年になると思います。

ロータリアン全員が少しずつリスクを背負ってクラブをどう維持するかを考える年度になるような気がします。

4月のRI理事会では、ガバナー公式訪問もバーチャル会議による実施が強く推奨され、ガバナー補佐もバーチャル

会議に慣れて担当クラブと会議ができるように作業を進めねばなりません。TV会議やバーチャル会議をやったことがないので、担当の地区副幹事にご指導をいただき活動に向けて準備したいと考えています。

ロータリー例会での「三密」を避けるためには、上記の会議にチャレンジしてゆかねばなりません。担当クラブの訪問日の調整やら会長、幹事との顔合わせ打ち合わせも自由が利きません。新型コロナウイルス感染を避けながらロータリー活動を模索する日々です。

■ガバナー公式訪問が始まりました

7月13日月曜日の東京池袋西ロータリークラブを皮切りに、今年度のガバナー訪問が始まりました。7月中に東京浅草中央、東京池袋、東京東、東京上野、東京葛飾・葛飾中央（合同例会）、東京臨海・臨海東（合同例会）、東京板橋・板橋セントラル（合同例会）、東京、東京神田、東京新宿・新都心（合同例会）へ、また8月は東京浅草、東京城北・東京セントラルパーク（合同例会）、東京小平・東京東久留米（合同例会）、東京北、東京お茶の水・東京丸の内（合同例会）、東京向島、東京江戸川、東京東江戸川・東京江戸川中央（合同例会）、東京四谷・東京ワセダ（合同例会）、東京江北、東京西北の各ロータリークラブへお邪魔します。どうぞよろしくお願いたします。



東京臨海ロータリークラブの公式訪問。ソーシャルディスタンスは完璧です。



東京葛飾ロータリークラブ公式訪問。全員マスクで完全防御です。

会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71	RC
2019年7月1日会員数	2,990	名
(内女性)	202	名
2020年6月30日クラブ数	70	RC
2020年6月30日会員数	2,870	名
(内女性)	204	名
2019-20年度入会者	193	名
2019-20年度退会者	313	名
2019-20年度会員増減数	-120	名

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団メジャードナー

レベル1 飯村 雅洋 (東京武蔵野中央)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

5回 椿原 弘也 (東京西北) 今井 忠 (東京臨海)

米山功労者・メジャードナー

18回 山下 正治 (東京城北)

14回 張 碧華 (東京お茶の水)

10回 BUI LE ANH XUAN (東京田無)

米山功労者・マルチプル

9回 守重 勝弘 (東京東大和)

4回 金谷 宏治 (東京向島) 橋本 健司 (東京秋川)

2回 渡邊 藍子 (東京紀尾井町) 金子 知未 (東京田無)

安部 琢正 (東京東大和)

米山功労者

二瓶 恵一 (東京臨海西) 齋藤 雄作 (東京田無)

新垣 真由美 (宜野湾)

2020年6月30日分まで 敬称略、順不同